いばらき柔道整復師会ニュース
令和８年
10月22日(木)

公益社団法人日本柔道整復師会
「匠の技」伝承プロジェクト
会員研修「匠の技」技術講習会を開催

令和8年10月18日(日)午後1時より、本会会館において、公益社団法人日本柔道整復師会共催による「匠の技」技術講習会が開催されました。

本講習会は、若手会員を対象に、整復・固定の基本技術を継承し、実践的な技術を学ぶことを目的として企画されたもので、当日は14名の会員が参加しました。

講師は、当プロジェクトの指導者候補の新井俊行学術部長、根本隆司学術副部長、福田紘一会員が務め、足周辺の骨折や顎関節脱臼の超音波観察と整復・固定法をテーマに、実技を中心とした研修が行われました。

講習は、超音波観察装置の取扱い実習から始まり、整復・固定技術の実習へと進み、基本手技の確認から実践的な技術まで、段階的に学ぶことができました。

また、講師の方々の経験談やマニピュレーションの方法など、日々の施術に役立つ多くの知識を得る貴重な機会となりました。

本講習会を通じて、整復・固定における基本技術の大切さを改めて実感するとともに、参加者にとって有意義な学びの場となりました。

（広報委員　　長谷川 秀樹）



